

平成30年度 第2回嘉麻市学力向上推進プロジェクト協議会

■日時 平成31年3月18日(月) 午後7時00分～

■場所 嘉麻市役所 嘉穂庁舎2階 第1会議室

■出席者

	氏名	出欠		氏名	出欠
会長	木本 寛昭		副会長	永富 靖人	
委員	松岡 広樹		委員	野上 真吾	
委員	高松 美紀		委員	本松 政一郎	
委員	園田 晃		委員	平田 賢一郎	
委員	福永 貴義		委員	藤井 隆昭	
委員	伊東 新治		委員	青木 康弘	

[事務局：学校教育課]

課長 柴田きよみ 参事 大森 雅明

課長補佐 北富 真治 指導係長 宮脇 教子 指導係 青野 秀明

<嘉麻市学力向上推進プロジェクト協議会条例 第1条 (設置)>

嘉麻市立小中学校に通学する児童生徒の学力向上に関し、情報共有と課題克服の共通意識を持ち、行政、地域、学校及び家庭が相互に連携し、就労できる力の育成に努めるため、地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定に基づき、嘉麻市学力向上プロジェクト協議会を設置する。

【会議次第】

1 会長あいさつ

2 議事

<協議題>

(1) 地域の人材や学生ボランティア等を活用した教育課程外の学力向上事業の実施

①土曜未来塾

②学校外補習学習事業

(2) 児童生徒の基礎的な学力の定着を図る家庭学習の充実

(3) 学力向上推進員による小・中学校への指導・支援体制の強化

<説明>

平成31年度学力向上推進事業の取組について

3 その他

平成30年度 第2回嘉麻市学力向上推進プロジェクト協議会 資料

1 協議会が所掌する事項（「嘉麻市学力向上推進プロジェクト協議会条例」より）

- (1) 土曜未来塾に関する事
- (2) 児童・生徒の基礎学力の定着強化に関する事
- (3) 小中学校への指導・支援体制の強化に関する事
- (4) その他学力向上に関し、必要と認められる事

2 協議事項

嘉麻市学力向上推進に係る事業について、第4次アクションプランとの関連において、以下を協議する

- (1) 地域の人材や学生ボランティア等を活用した教育課程外の学力向上事業の実施
 - ①土曜未来塾
 - ②学校外補習学習事業
- (2) 児童生徒の基礎的な学力の定着を図る家庭学習の充実
- (3) 学力向上推進員による小・中学校への指導・支援体制の強化

(1) 地域の人材や学生ボランティア等を活用した教育課程外の学力向上事業の実施

①嘉麻市土曜未来塾に関する事

※別紙1

②学校外補習学習事業の実施

<平成30年度実施状況>

実施内容 長期休業期間中の補充学習や放課後の学習を実施

実施申請校 小学校8校中7校 ※うち1校は豪雨災害のため未実施

中学校5校中4校

※未実施校は予算を受けず、自校で独自に放課後の学習を実施

<成果・課題>

○夏休み等の課題を新学期が始まる前までに着実に終わらせられた（主に小学校）

○共通の問題集を活用でき、学生を中心とするボランティアの関りでやる気をもって生徒たちが学習できた。（主に中学校）

●全校実施

<平成31年度（2019年度）申請状況>

小学校8校中7校 ※1校は校舎整備の状況により保留

中学校5校中4校

※未実施校は予算を受けず、自校で独自に放課後の学習を実施

(2) 児童生徒の基礎的な学力の定着を図る家庭学習の充実

目標達成にかかる指標	目標値		
	平成30年度	2019年度	2020年度
家庭学習の目標時間達成率(小)	80%	90%	100%
家庭学習の目標時間達成率(中)	60%	80%	100%
土日の家庭学習時間ゼロの児童生徒	10%以下	5%以下	0%

小学生：学年×10分+10分（6年生：6×10分+10分=70分）

中学生：概ね90～120分（全学年）

<平成30年度達成状況>

○家庭学習の目標時間達成

小学校8校中4校達成

中学校5校中2校達成

※未達成の学校もわずかに目標値にとどいていない状況

○土日の家庭学習時間ゼロ

小学校8校中8校達成

中学校5校中3校達成

<成果・課題>

○達成率は低いですが、概ね家庭での学習習慣が身に付いてきた

○数値目標を市全体の共通目標として位置づけられた

●目標達成への手立てと、課題の個別化の推進

(3) 学力向上推進員(5名)による小・中学校への指導・支援体制の強化

①若年教師や講師への指導体制の強化

学校から依頼があった若年教員15名に対する指導・助言

・指導に係る授業参観回数 430回

・指導回数 423回

②管理職との懇談に基づく指導・助言

③嘉麻市教育センター事業「講師研修会」における講師

<成果・課題>

○若年教員が増加する中で円滑に人材育成ができています

○管理職の経験（元校長）を生かした指導・助言ができています

●学校と学力向上推進室の更なる連携（人材育成等）

3 平成31年度（2019年度）嘉麻市「学力向上」全体構想について

※別紙2

別紙1

平成30年度「嘉麻市土曜未来塾」実施状況

1 会場別状況

※各会場の運営は、5名の学力向上推進員および4名の学習指導員で行っている。

会場	対象校	参加者数	中学校区	開催回数(回)	備考
山田生涯学習館	熊ヶ畑小学校	0	32	31	小学校の部は 7月14日に開塾
	上山田小学校	7		38	
	山田中学校	13			
白馬ホール	下山田小学校	12		37	
稲築庁舎横車庫 上会議室	稲築西小学校	19	49	37	参加者数()内は 嘉穂附属中の生徒
	稲築中学校	29 (1)		38	
鴨生町公民館	稲築東小学校	22	39	36	会場が使用できない ときは稲築東中学校
	稲築東中学校	17		38	
碓井人権啓発セ ンターあかつき	碓井小学校	10	31	36	
	碓井中学校	21		37	
夢サイトかほ	嘉穂小学校	10	44	37	会場が使用できない ときは嘉穂庁舎
	嘉穂中学校	18		37	
下牛隈公民館	牛隈小学校	16		37	

※年間開催予定数は40回。台風等自然災害、学校行事等で開催回数が減。

※出席率 小学校約73% 中学校約62%

2 参加児童生徒数の推移(人)

年度	平成28年度	29年度	30年度
参加児童数	84	124	96
参加生徒数	48	70	99
合計	132	194	195

3 成果と課題

(1) 成果

- 中学3年生のテスト得点の分析の結果、未来塾全体として、県平均値に対する学校の伸びよりも伸びている生徒が多かった。
- 勉強がわかるようになったと答えた児童の割合が高い
- アンケートでは、保護者から事業への感謝の言葉が多数寄せられた。(別添)

(2) 課題

- 個に対応した課題を提供するための学校との連携
- 学習サポーターの研修の充実

平成30年度「嘉麻市土曜未来塾」年度末アンケート調査

※ 本資料は、本年度「嘉麻市土曜未来塾」に参加した、塾生（児童生徒）とその保護者、学習サポーターに対して行ったアンケート調査の自由記述欄を抜粋したものです。

<塾生>

小学生

- ・未来塾で習って、分からないところがたくさん分かるようになった。
- ・いろいろな問題に取りくむことができた。
- ・サポーターの教え方が分かりやすい。
- ・宿題を仕上げることができ休みが増えた。
- ・勉強が楽しくなりました。
- ・宿題の分からないところが減った。
- ・自宅で勉強する習慣がついた。

中学生

- ・自分の志望校を卒業したサポーターからアドバイスがもらえた。
- ・分からないところを分かるまで教えてくれる。
- ・宿題が早く終わるようになった。
- ・分かるところが増えて嬉しいです。
- ・解ける問題が増えた。
- ・勉強する回数が増えました。
- ・勉強する時間が増え、志望校に合格できました。

<保護者>

- ・自主的に勉強するようになりとてもよかったですと思っています。宿題やドリルで解けなかった問題を丁寧に教えていただいて感謝しています。塾から帰ってくると解けるようになったことで自信がついたようです。
- ・分からないところがあったりした時、塾の先生が分かりやすく教えてくれた子どもが言っていました。成績も前よりぐっと上がっているそうです。
- ・通塾当初は、家と学校以外で勉強する事に戸惑いがあったようですが、最近は前日に未来塾で何を取組みしようかと考えるようになり、少し勉強する癖が出来たかなと思います。中学生になってもお願いしたいと思っています。
- ・部活があり、参加できる日が少ないですが未来塾に通うことが楽しいようです。
- ・未来塾で勉強する事が、受験の手助けになりました。分からない所を聞いたり出来て本人も助かると言っていました。

<サポーター>

- ・自分自身も大きく成長できる場となり、大変有意義な3年半でした。子どもたちにとっても何かプラスになっていればいいと思います。ありがとうございました。
- ・年数を重ねていく中で、土曜未来塾の成果を実感することができるようになりました。
- ・普段関われない地域の子達と触れ合えて楽しかったです。
- ・子どもたちとのコミュニケーションによって自分自身成長できている面があります。出来ればまた参加したいと思います。
- ・とてもやりがいを感じ、素晴らしい活動だと思いました。生徒にとっても、地域の人と交流になり勉強以外にも得る事が出来ているだろうと考えます。1年間お世話になりました。
- ・子どもたちの学習を側でサポートすることが出来て、私自身も多くの事を学ぶことが出来ました。継続的に関わらせて頂けたことで、子どもたちの成長の様子や学びが深まっていく様子を感じられたのが嬉しかったです。特に3年生の受験は胸にグッと来ました。教える事の難しさも感じますが、これからも学び続けたいです。

【中期目標】

根拠をもとに自分の考えを書き、その過程を軌道立てて説明したり交流を通して考えを付加・修正・強化したりできる児童生徒の育成。
 【成果指標】
 ◇2021.4 全国学力・学習状況調査結果において、文科省標準化得点が(100以上)になる。
 ◇標準学力検査NRTにおいて、標準偏差値(55)を超え、アンダーアチーバーが(0)になる。
 ◇標準学力分析検査フクトにおいて、標準偏差値(50)を超える。
 ※クリテ校は、更なるポイント設定を行う。

【短期目標】

基礎的な知識・技能を確実に身に付けている児童生徒の育成。
 【成果指標】
 ◆2020.4 全国学力・学習状況調査結果において、文科省標準化得点を次の数値以上にする。
 小国・小算(100以上) 中国・中算(98)
 ◆2020.3標準学力検査NRTにおいて、嘉麻市の平均を(53)に、2020.4標準学力分析検査フクトにおいて、嘉麻市の平均を(50)にする。

【家庭・関係機関との連携】

- ◆小中連携に基づく家庭学習の推進
 - ・ 時間管理
 - ・ 小：(10×学年+10)分以上
 - ・ 中1・2年(90分)3年(120分)以上
- ・ 学習の個別化
- ・ 個に応じた週末課題の提示
- ・ 自学の推進
- ・ 事後指導・評価
 - ・ 日常的な評価
 - ・ 長期休業明けの課題テストの実施
- ◇嘉麻市土曜未来塾の周知の深化と児童生徒への活用促進

【授業づくり】

- ◇「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った授業改善
- ◆県作成問題・高校入試問題の活用
- ◆活動構成・単元構成の工夫
 - ・ 書く、話し合う、振り返る活動の設定
 - ・ 評価後の指導の充実
 - ・ 習熟度別指導の実施
- ◆生徒による授業評価の活用(中)
- 【学力定着をめざす補充の取組】
- ◇学力補充日の設定

【教員の意識・指導力の向上】

- ◇校内研修の充実
 - ・ 管理職の教室訪問
 - ・ 一般研修(授業技術、家庭学習等)
 - ・ 全員1回以上の授業研究
- ◇中学校教科教育研究会の実施
 - ・ 年間4回の教科別研修会
- ◆短期スパンでの検証改善サイクルの確立
 - ・ 各校検証委員会の機能化
 - ・ 検証の日常化

【基礎づくり】

- ◇繰り返し指導(学校外補充学習事業) ◇全学級で共通した学習規律の徹底 学び方指導
- ◇多層指導モデルMIM コオーダーデザインセッションレーニンングの推進 ◆家庭学習(質と量)を考慮した適切な課題提示(事後指導の徹底)

【嘉麻市学力向上強化プロジェクト事業】

- ◇小中学校への支援・指導体制の強化 ◆若手教師や講師への指導体制の強化
- ◇「嘉麻市土曜未来塾」の活用 ◆学校外補充学習事業の活用

【児童生徒の学力実態】

全国学力・学習状況調査では、年度ごとに集団の差があるものの、確実な上昇傾向にある。小学校は、標準学力検査NRTにおいて、平成26年以降、標準偏差値(50)を超え、維持している。中学校は、標準学力分析検査フクトにおいて、年々確実な上昇し、平成30年度は、標準学力偏差値との差を(-0.7)にまで縮めている。
 ◆小学校算数においては伸びが見られるが、中学校数学に生かされていない。
 →小学校段階における基礎基本の確実な習得と活用力の育成、中学校での授業改善を進める。

(小学校) (全国学力・学習状況調査(文科省標準化得点))

	国語A	国語B	算数A	算数B
H30.4	97	99	97	98
H29.4	98	98	99	98

(中学校) (全国学力・学習状況調査(文科省標準化得点))

	国語A	国語B	数学A	数学B
H30.4	98	98	97	96
H29.4	96	95	94	95

(NRT学力検査 第2～6学年(標準偏差値50に対する嘉麻市平均))

	国語	算数	総合
H31.3			
H29.4	51.4	51.6	51.5

(標準学力分析検査(フクト) 4月(標準偏差値50に対する嘉麻市平均))

	総合
H30.4	49.3
H29.4	47.9